

令和8年度 第10回まちづくりふれあい懇談会記録書

- 1 日 時 令和8年8月27日（木）午後6時30分～7時55分（85分）
- 2 場 所 向陽ヶ丘住民センター 多目的ホール
- 3 出席者 一般出席者 12人
網走市出席者 8人（市長、教育長
企画総務部長、市民環境部長、建設港湾部長、
観光商工部長、学校教育部長、学校教育課参事、
企画調整課長、広報広聴係長）
町連等出席者 4人（会長、副会長、理事、社会福祉協議会職員）
計 24人
- 4 議事進行 理事
- 5 進行記録
18:30 開会
18:30 市長あいさつ
18:34 町連副会長あいさつ
18:37 テーマ(1)小中学校の適正規模・適正配置の検討について
19:08 テーマ(2)太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する
ガイドラインの策定について
19:26 テーマ(3)どこバスについて
19:35 その他
19:53 市長あいさつ
19:55 閉会

【テーマ（１）小中学校の適正規模・適正配置の検討について】

▼参加者

懇談会に何度か参加させてもらい、基本的な考え方や保護者の方の意見を聞いたが、10年間で14校を3校にまとめるというのは、無理があると改めて思った。

8/26の説明会で、郊外にお子さんが通っているお母さんの意見を聞いたが、子どもたちは片道35分かけてスクールバスに乗っており、負担だと思う。

統合でさらに時間がかかるわけで、効率よくスピーディーにと説明があったが、バスを何台使っても距離は変わらないので、無理がある。吹雪の中で送らなきゃいけない、迎えに行かなきゃいけないので、命の危険もあるということを訴えていた。

バス会社と相談をして進めていくということも聞いたが、運転手が減っており、外国人の方も運転手になっている中で、農地や農道の状況をわかっていないと、どんな事故が起こるかもわからない、命の危険さえあるのでは、と訴えているお母さんもいた。

効率よくスピーディーにスクールバスを運行するということに、本当に無理があるんだなということがわかったので、意見として発言させてもらう。

（学校教育部長）

貴重な意見として承りたいと思う。

▼参加者

小学校、中学校をいっぺんに10年後に3つにするのは、あまりに乱暴な計画では、というのが率直な実感。
他の地域とか全国的な流れもあると思うが、地元で丁寧に議論をしてほしいということを最初に要望しておきたい。

一番不安に思っているのは、学校は地域コミュニティの中心だということ。町内会長の方もたくさんいるので、そうだと言ってくれる方が多いと思うが、地域は、学校を中心に作られていると思っている。

地域の人たちと丁寧に議論をして、今後の地域コミュニティはどうあるべきなのか、地方も含めた中で、そこをしっかりと聞いて進めていただきたいと思う。

本当に義務教育学校がいいのかどうかも、ちゃんと議論をしないといけないと思う。

小学生は6年生が大先輩で、6年間で卒業し、それから中学校1

	年生になって後輩になって、また3年間で先輩になって、何かを勝ち取って卒業していく、の繰り返しで成長にとって大事だと思う。 切磋琢磨というのは時には大事だが、何でもかんでも切磋琢磨が大事ではないと思う。 今の競争教育が、もしかしたら、たくさんの児童生徒の不登校を生んでいるのかもしれない。 ただ切磋琢磨、切磋琢磨と言っていることが望ましいとは思わないので、教育関係者や地域の方々など、いろんな観点から丁寧に議論をしていただいて、進めていただきたい。 10年後に3つの学校にするということは、もう一度言うが、乱暴極まりないと思っている。
(学校教育部長)	10年後に3つの学校は決まったことではなく、たたき台として示しているもの。 地域で丁寧に進めていくということは、おっしゃる通りだと思うし、これまでも色々な地域で説明させていただいた。 その中で、地域の学校を残したい、子どもの通学の負担の声を受け止めさせていただいており、そうした点も含めて、学校再編検討協議会の中で、方向性を定めていきたい。 義務教育学校で進めたい考え方を示したが、良い面、悪い面があるのは理解しているので、委員の皆さんと共通理解のもと、進めていければと思っている。 新聞で、義務教育学校が道内にも増えていくという記事もあったが、教育委員会としては、子供たちのために第一に考えているので、皆さんの声をよく聞いていきたい。
▼参加者	今、二人の意見を聞いたが、批判的な意見ではなく、自分たちはどうするっていう意見はどうか。 「無理がある」とか「乱暴だ」と言うが、自分ならどうするか、の提案があれば聞きたい。
▼参加者	8/26に、三校にするのであればどんな学校ができるんだろうか、という質問が若い参加者からあり、新しい建物を建てるのであれば、体育館を2つ作らなければいけないという説明があった。 資料でも改修で337億円かかるとあるが、大事な子どものために、改修や修繕にお金をかけるべきではないかと思う。 そこを惜しまずかけて直して、今あるものを使っていくことが

大事なのではないかと思います。

▼参加者

民生委員をやっており、学校の話をしている。
根本的な原因は人口が減ってきているで、学校というよりも人数が減ってきていることが問題なのかと思っている。
その中で、少子化対策が見えてこないというのがあり、企業誘致や、例えば日ハムの拠点設置など、いろいろな形で網走をアピールして、人数を増やすことで少しずつ子供たちも増えていって、経済もまた変わってくるのではないかと。
市として少子化対策についてどう考えているか聞きたい。

(市長)

少子化、人口減少、この2つが一緒になって、国の政策として取り組んできた。

子育て支援が少子化対策になっているかのエビデンスが取れていない。

現役のお子さんがある方に対しては、医療費の無償化、給食費の無償化など、若い世代に対する支援で、子供が産み育てやすい環境を作る形で子育て支援をしているが、人口減少に対する対策というのは、赤ちゃんを産むか産まないかというような問題に行き着くので、行政でどうこうというのは、なかなか難しいのが実情。

合計特殊出生率が約1.3だったと思うが、出生が2人以上ないと人口は減っていくことになるので、現状としては今の出生率では人口が減っているトレンドにある。

もっと詳しく言うと、結婚をされている方が赤ちゃんを産む数は、昭和から変わっていない。

結婚すると赤ちゃんは生まれるが、未婚の方が多くなると、赤ちゃんの数が増えないのが実態で、そこに行政が手を入れられるかということ、一人一人の生き方の問題になるので、大変難しく、様々な工夫を持って進めるべき問題だと思っている。

2015年、安倍政権時に「地方創生」という形で、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が提出されたが、自分は、「まち・ひと・しごと」ではなくて、順番は違っており、「しごと・ひと・まち」、つまり仕事があって人が来て、まちづくりができる、仕事を私たちはこの地域で作っていくかが、行政に課せられた仕事だと思っている。

網走には農業や漁業という強みがある。

その強みをどのようにして仕事にしていくのか。お話にあった野球の誘致も含め、地域の中で産業の強みで、仕事、人、まちを作っていくのかに重点を置いて、行政を進めたい。

なかなか結果の出にくい質問だったと思うが、現状としてはそういったことなので、意見交換をしながら意識の共有が図られていると思う。
ご質問いただいたことに感謝申し上げます。

▼参加者

私もそう思っており、仕事づくりが住みやすい環境をつくり、少しずつ人口も増えていって、ここで生活してくる人が多くなると良いと思っている。
人口が減っていくと、学校を少なくするのはしょうがないと自分も思っているが、例えば農家の子どもで郊外から通うのに学校が遠いなど難しい面はある。
大変だと思うが、話し合いの回数を増やして、どれが一番いいか進めてほしい。

(市長)

今いただいたことを十分に参考にしながら、今後の協議会の中で進めていきたい。

▼参加者

人口が減って、9月の広報を見たら3万人となっていた。
東京農大があっても、4年経って卒業すると皆いなくなる。
どうしてかと聞くと仕事がないからというが、市長はどう考えるか。

(市長)

東京農大の学生は、4学年で大体1,600人ぐらい。
今、地方の私立大学で、定員が満たされている大学は、全国で3つしかなく、1つは東京農業大学オホーツクキャンパス、もう1つが秋田の経法大学で、もう1つが大分の立命館国際大学。
この3つが地方にある大学で定員を満たされている大学で、他の地方大学は大体定員割れしている状況。
学生は年間350から400人ぐらい入学しているが、97%は本州から、3%が北海道、昨年で網走から東京農大に入学された方は0人なので、全国から来ている大学ということになる。

仕事がないという話は聞かれるが、どこで就職したのか聞くと、みんな地元に戻っており、地元で就職をしたいという声が非常に多い。仕事はいっぱいあり、どこも人手不足だが、やりたい仕事がない状況だと思っている。
農業も人手不足でいくらでも人が欲しいし、漁業も同じ。
給料を上げていってるが、網走に仕事がないのではなくて、やりたい仕事がないというニーズはしっかり受け止めなければならない。

東京農大で学んだ強みがあるが、学んだ強みを地元で還元でき

るよう努力をしていきたい。
1回東京に行ってまた戻ってくる、Uターンの方もいるので、そうした方を大切にしているところでもある。

【テーマ（２）太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する
ガイドラインの策定について】

- | | |
|----------|---|
| ▼参加者 | 住民の意見で計画に変更があった時は、もう一度住民に説明してもらえるのか。 |
| （市民環境部長） | 説明会で住民の方から意見があり、計画を変更した場合は、どうい
う変更をしたか公表し、それを受けて、また住民から改めて意見があれば、説明の機会を設けていきたいと考えている。 |
| ▼参加者 | 1番大きな問題は廃棄だと思う。
廃棄方法は神戸方式になるのか。 |
| （市民環境部長） | 神戸方式に類似するような形で、廃棄費用を定期預金のような形で積み立て、市が質権を設定し、事業者が勝手に引き下ろせないような仕組みにして、事業者が倒産していなくなってしまう場合は、預金を市が活用して撤去することを想定している。 |
| ▼参加者 | 積立金は、どれくらいを考えているか。 |
| （市民環境部長） | 1kWあたり1万円か、廃棄業者の見積額か、実際の建設費用の5%の金額か、の3つで、1番高い額を積み立てていただく予定。 |
| ▼参加者 | 日本ガイシと共同で、あばしり電力を立ち上げたが、地元の業者を使って地元に戻元させるのが、網走のためになると思うがどうか。 |
| （市民環境部長） | 地元の方が自ら建てて管理していただくのが、管理の面でも顔が見える関係でよろしいかと思うが、メガソーラーなど一定の規模になると、現状としては市外の事業者が多い。
新たに市に施設を建てることについて、経済的な恩恵はあると考えている。 |

(企画総務部長)	あばしり電力は、名古屋の日本ガイシが6,000万円、網走市役所が1,000万円出資し、7,000万円で会社を興したもので、専門の職員がいるわけではない。
	潮見に発電所があり、東京農業大学でも、駐車場にソーラーパネルを設置して、蓄電池を設置する工事を進めている。 なるべく地元に、ということで発注しているが、市内には太陽光専門の業者さんがいなく、設置に係る土木工事で、市内の電気事業者、土木事業者さんを入れて工事を実施している。 名古屋から業者が来て工事をやっているということは一切ないので、ご理解いただきたい。
▼参加者	大学の先生の説明を聞いた。やはり地元の業者でやってほしい。
(企画総務部長)	地元で、大規模の太陽光パネルを扱える業者がない。 市としても、市内の業者にやっていただきたいが、受けられる業者がないので、ご理解いただきたい。 関連する工事で地元で受けられる工事があるので、そこは地元が発注できるようにしている。
▼参加者	電気業者はどこか。
(企画総務部長)	具体的な事業者名は申し上げられない。 現場には、地元の看板を持ったトラックや重機が入っている。
▼参加者	太陽光パネルと蓄電池は別か。
(企画総務部長)	蓄電池は3箇所あり、1つは潮見小学校前のコンテナ、もう1つが呼人のNGKオホーツク、もう1つが東京農業大学の駐車場に設置工事を進めており、一般家庭で考える蓄電池とは全く違うような規模の設備。
▼参加者	消防法の問題もあると思う。
(企画総務部長)	コンテナになっており、騒音等はほとんど発生していないと思う。何かあった場合もコンテナの中で仕切られており、火災に対しても防犯・防火能力が高く、消防に届け出がするような危

険なものではない。

▼参加者

潮見小学校の電気は、学校と住民センターで使われているそうだが、他はどんなところに使われているのか。

(企画総務部長)

市役所屋上の上ものは市役所で使っているが、野立てのもので、あばしり電力で発電した電力は、一旦ほくでんに行き、それを市が買い取り、市の施設に使っている状況。
大体、現在の発電量でいくと、学校、流氷館、コミセンなど全部の公共施設の3割程度に相当する電力を発電していることになる。

【テーマ（3）どこバスについて】

(質問意見なし)

【その他】

▼参加者

3点お聞きしたい。

1つ目は、ゴミのポイ捨てで、少しずつ減ってきているが、白いポリ袋に入っており、車からのポイ捨てが原因かと思っている。
向陽ヶ丘だけでなく、大曲から呼人に行く道も散乱しており、毎日のように住民がゴミを拾っている。

一時は、コンビニでゴミを捨てられたので、車のゴミはそこに捨てていたが、今は一部のコンビニでしか捨てられないのが原因の一つかと思っている。
ゴミの散乱について、例えばコンビニに協力してもらうなど、力を貸してもらいたい。

2つ目は、町内会の回覧板で、回覧時に回らず途中で止まってしまうことがある。

全戸配布は班長さんが配ってくれるので助かっているが、今、市で進めているデジタル化で力を貸していただきたい。

班長も非常に高齢化が進んでおり、70代から80代の方が暑い中、一軒一軒配ったりすることもある。

デジタル化できている町内会は必要ないと言うが、数が多いところは高齢者の方にも行き渡らせなきゃいけないので、デジタル化もなんとか進めてほしい。

高齢者、若い世代もめんどくさいという方が多いが、一生懸命やっているの、ぜひお願いしたい。

3つ目は、防災・災害について、町内会の一つのテーマだが、10年に1度のために準備して訓練するのは難しく、災害に対応できない。

向陽ヶ丘は災害に強く、津波や地震への対応、最近は市の協力で冬場の除雪もできているが、避難の際に、低地に住んでいる方が向陽ヶ丘に上がってくるケースがあるので、市でガイドラインを作っていただいて、「こういう災害の時に、こういうような形で今考えている。町内会にはこういうことを担当してもらいたい」といったガイドラインを作ってもらいたい。町内会全体、市全体を通しての話かと思うが、もう少し細かく災害についても力を貸してもらいたい。

(市民環境部長)

かつてはコンビニにゴミ箱があり、ポイ捨てを防げた部分はあるかと思うが、ゴミ箱があることで家庭のゴミがそこに捨てられてしまい、コンビニ側でゴミ箱を撤去する動きがある。ポイ捨ては、捨てる人のモラルという部分もあり、一気に解決するのは難しい部分もあるが、2年前から市でもポイ捨てゴミを拾うピリカ活動にも取り組んでいる。捨てることの今後の解決にはならないかもしれないが、今後様々な周知なども含めて検討してまいりたい。

回覧板の電子化については、今年度から電子回覧板の実証実験ということをする予定。

参加していただける町内会を募集しており、町内会に案内を送っているので、実証実験にご協力いただければと思う。

(企画総務部長)

災害について、まず宣伝だが、8/30の午前10時から消防南出張所で総合防災訓練を実施するので、お時間があれば、ぜひご参加いただきたい。

災害対応については、高齢化もあり、町内会だけでは難しいというのは承知している。

市では、町内会でもグループでも構わないので、集まっただき、訓練をやってはどうかと補助メニューを提示させていただいている。

1〜2万円程度が上限だが、非常食を買って食べてみる、備蓄で用意している簡易ベッドを組み立ててみるなどのメニューをやっており、市の職員を呼んでいただければ、いろいろな提案ができると思う。

大きな訓練は続けるのがなかなか難しい。

網走は災害が少ないが、来ないということはないので、意識付けと捉えていただき、神経質に考えず、市の職員の防災の話を聞いてみようということで声をかけていただければと思う。

	受け入れの話とマニュアルの話については、津波の場合は向陽ヶ丘地区、潮見地区、駒場地区などの高台地区が、地域の市民の皆さんを受け入れていただく役割を担っていると思うので、コミュニティセンターに自主避難マニュアルを整備している。 災害時は、市の職員も来られないかもしれないので、まずは外を見てもらって壊れているところがないか、ガスの臭いはないか、水道は通るか、市への連絡担当者が書いてあるので、そこで受付をしていただいて、市へ連絡していただくなどの訓練をやっていただきたい。
▼参加者	災害については、おっしゃる通りで、向陽ヶ丘の連合町内会でも受け入れをしなきゃいけないという意識はあるが、どこから連絡が来るのか、今こういう状況になっている、といった連絡を誰とやったらいいのか分からない状況。 学校も避難する場所の1つでもあるので、ガイドラインや学校との連携を連合町内会でも進めていきたいと思う。 訓練は参加する人が少ないと思うが、役員、連合町内会との繋がりは構築していかなきゃいけないかと思う。
▼参加者	非常食と段ボールベッドがあるとのことだが、備蓄はどれくらいあるのか。
(企画総務部長)	備蓄量は、今手元に資料がないが、何年か前に津波警報が2回出たときに、最大で避難した人の数が大体1,500人程度だったことを基準に3日程度過ごせるように整備をしている。 ベッドも相当あるが、最近、段ボールベッドの組み立てを子供たちにやってもらった際に、持ち運びが大変なのとかさばることがわかり、より軽い簡易ベッドへの変更を進めている。 また、今の防災担当のセクションの係長が女性であり、女性の視点でこういったものを用意しておいたらいい、というようなきめ細やかさも出ており、そうしたことを踏まえ、備蓄の充実に努めている。 また、コミセンに蓄電池を整備しており、停電になったら、発電機を回して、電力確保をできるようにしている。災害時にいきなり使うのでは不安があると思うので、普段から使っていたらと思う。
▼参加者	班長をやっており、月に3回ぐらい回覧板が回る。 デジタル化ということだが、80代、90代の方にどこまでそれが理解できるのか、説明いただきたい。

(市民環境部長)

実証実験ということで話したが、仮に電子回覧板を導入した地域でも、高齢の方でなかなか使えない方もいるので、そこは引き続き、これまでと同じように紙も併用して行う。
皆さん必ず電子に移行して、というものではないので、ご理解いただきたい。

▼参加者

わかった。紙で回す。